

日本共産党 和歌山市会議員

# ひめだ高広ニュース

No.967

13.7.10

## 参議院選挙が始まりました

参議院選挙が始まりました。梅雨が明けました。暑い夏です。暑さに身体が慣れていない梅雨明けの時期に熱中症が多いとか。あまり暑さをがまんしないで。こまめに水分を取って、元気に過ごしましょう。

◎投票は2回します。

1番めは、

選挙区選挙

候補者名で投票します

2番めは、

比例代表選挙

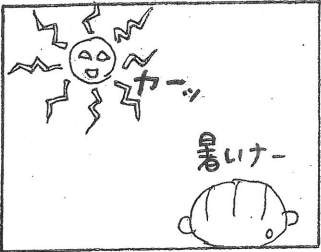
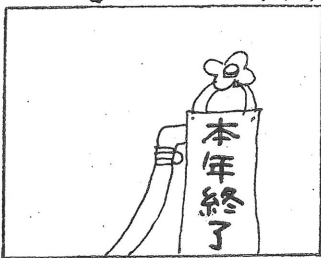
政党名で投票します

各比例代表の候補者名

でも投票できます。

## フリーの人々

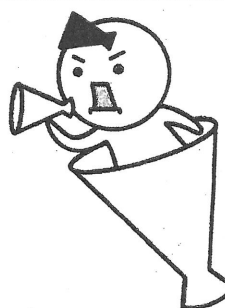
(750)



## 平和憲法を守りぬく責任

7月9日(火)和歌山上空襲の犠牲者に対して、汀公園で追悼法華が市役所では、黙祷が捧げられました。戦争による犠牲者は二度と出さない、これが戦後の日本の原点です。日本国憲法前文は、政府の行為によ

って再び戦争の惨禍が起ることのないようにすること、9条で国際紛争を武力で解決する戦争は永久に放棄するとし、軍隊を持たず、交戦権を認めないと決めました。憲法を守る責任は私達の世代にあります。



カクサン (本名: 亀山 三郎)

このイラストでペンときた方は、かなりの共産党通では。日本共産党カクサン部設立の企画者で部長。メガホンも自身の体らしい。

頭の黒いものは、メガホン一分けの髪の毛。詳細は2面。

こんにちは  
日本共産党の  
**ふじい健太郎**  
です。  
(その375)

テレビ各局の党首討論会や新聞各社の候補者へのアンケートなどで、参議院選挙の争点も浮かびあがってきました。たとえば、安倍首相がい

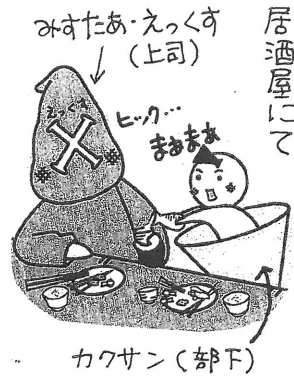
の一番に言う「アベノミクス」です。「日本を世界ノ企業が活動しやすい国にする」ために、金融の大胆な緩和、法人税の思い切った減税、規制緩和による雇用のいっそこの流動化(首切り自由化、派遣労働の拡大、サービス残業の合法化など)が必要だと言います。野党第一党を名乗る「民主党」は、アベノミクスの「効用(主作用)」は認めると副作用もある。「みんなの党」や「維新の会」は、規制緩和の徹底を行えるのは自分たちであると言っています。アベノミクスは大企業が潤っても国民には貸下げと消費税増税をもたらします。それに対して日本共産党は、国民の所得を増やしてこそその経済対策であり、そのためには正規雇用の拡大と賃金の引き上げが必要であると訴えています。大企業に軸足を置くのが、国民に軸足を置くのが、「政治」の果たす役割はどちらか、明らかではないでしょうか。



ふじい健太郎 前県会議員

# 日本共産党カクサン部誕生

2013年春、代々木の居酒屋にて



カクサン(部F)

カク：そうっスね。と思うんだよねえ、オレ。

X：今度、ネット選挙解禁するじゃん。なんかさ、ネット使って、若者にウケる方法とかない？

カク：若者はさっつかんたんじやない、スよ。

X：だから、そこをなんか考えてよ。うちのPRにながるようなさ。ヒック：

カク：うーん…(しばし沈

黙)最近、地方自治体で、ゆるい感じの「当地キャラ」が流行ってるじゃん。スか。それと同じで、ウチのゆるい感じの党員集めて、ウェブ専用の特命PR部をつくるってのはどうでしょう?! 共産党のゆるい部

増税ゆるさん! TPRゆるさん! って。

X：うーん…ボーン!

カク：えー。けっ、こーい

いと思っただのに?。

## こんにちは日本共産党



自民党がセネコンの業界団体に4億7000万円もの「献金請求書」を出しました。だいたい企業献金をやめること以前提に1995年から政党

助成金を始めたはず。11年までの18年間で、自民2566億円、民主1712億円、公明420億円、社民338億円など日本共産党以外の政党に5677億円もの税金が配分されました。11年の政党助成金が各党本部の収入に占める割合は、自民72.5%、民主83.2%、公明7.9%、

みんなの党96.8%。維新の予算書も94.1%当て込んでいます。日本共産党は企業・団体献金も憲法違反の政党助成金の受け取りも一貫して拒否しています。しんぶん赤旗の購読料や読者、支持者からの個人の寄付で党財政を支えられ

X：悪くはないけど、反対反対ばっか言ってるのやだなあ。もうちょっと、政策とかさあ、国民の想いとかさあ、そういうの広めると感じ〜? なんかこう楽しい政治って感じ〜? ヒック

カク：じゃあ、「ゆるさん部」じゃなくて「カクサン部」ってのはどうでしょう。

「ただしい政治」「楽しい政治」を広めるって意味で「拡散」!

X：それイキで!

カク：はやっ!

## 「死者に課税?!」死亡消費税!!

全国商工団体連合会発行の全国商工新聞7月8日号の「コラム」「高志繁盛」に「週刊ポスト」(6月28日号)の「死亡消費税」記事にコメントした浦野広明税理士から連絡があった。その記事が紹介されています。6月3日に首相官邸で開かれた社会保障制度改革

X：お前、その部長ね。明日、オレがゆるいやつら集めてくから。あとはお前にまかせるわ。ヒック：

カク：えー!! (ゆるい党員はイキなんだ)

…こうしてカクサンは、特命PR部「カクサン部」の部長としてゆるい部員らと使命を共にし、活動することになったのだ…

☆カクサン部のくわしい活動は、日本共産党中央委員会のホームページに掲載しています。ご覧ください。

国民会議に民間委員の伊藤元重東大教授が新たな財源として「高齢者医療費をカバーする目的での死亡消費税の導入」を提案したそうです。相続税とは別に、国民全員に死ぬときに財産から一定の税率を「社会保障精算税」として納税させる

のです。恐ろしい話です。